

研究機関：広島大学

研究課題名	上葉優位型肺線維症と特発性肺線維症の臨床的特徴についての比較検討
研究責任者名	広島大学病院呼吸器内科 助教 益田 武
研究期間	平成 30 年 3 月 23 日(倫理委員会承認後) ~平成 31 年 3 月
対象者	平成 20 年 4 月から平成 30 年 3 月の間に、広島大学病院呼吸器内科を受診した患者さんのうち、上葉優位型肺線維症 (pleuroparenchymal fibroelastosis) あるいは特発性肺線維症と診断された成人患者さん。
意義・目的	上葉優位型肺線維症 (pleuroparenchymal fibroelastosis) は、近年提唱され始めた特発性間質性肺炎の稀少な病型であり、その臨床的な特徴や予後についてはまだ不明確なところが多いです。特発性間質性肺炎の代表的な疾患である特発性肺線維症と比較して、臨床的な特徴の違いを明らかにすることで、この疾患に対する理解を深めることが目的です。また、この疾患の肺病変の画像解析を行い、予後不良となるような病変を同定する予定です。
方法	本研究は、診療録 (カルテ) 情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、身長、体重、BMI、主病名、合併症、初診日、治療内容、予後などです。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学 助教 益田 武
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5196 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 分子内科学 大学院生 難波 将史 (担当者) 助教 益田 武 (研究責任者)